

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	囲碁文化振興事業		
事業担当	市民部 文化・交流課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'02	②〈感性〉 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	'03	3 幅広い芸術・文化活動を普及・促進する	
根拠法令等	文化芸術振興基本法		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託：○3セク・財団 企業 NPO その他】【協働：まちづくり振興財団】		
目的・目標		事業の概要	
囲碁に関連した各種イベントを開催することにより、囲碁文化の向上と振興が図られています。		囲碁文化の向上と振興のため、各種イベント等を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	囲碁普及事業数				単位	事業
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	21	21	23	22		
	実績	19	22	26			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	囲碁普及事業参加者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	8800	8800	9000	10000		
	実績	10626	10837	10119			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成24年度の主な取組と成果							
湘南ひらつか囲碁まつりを開催するとともに第5回囲碁サミット(益田市)に参加し「囲碁のまちひらつか」を全国に発信しました。また、本因坊戦第5局と女流棋聖戦の誘致、各種囲碁大会、女性・子どもを対象とした囲碁教室等、囲碁教養講座、各種イベントの内容を充実することにより、囲碁文化の向上と振興を推進しました。							
平成24年度の検証結果	A：成果があがった						

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民ニーズや「文化芸術振興基本法」による規定、文化振興の安定性、継続性の確保の観点から必要性は高い事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	事業展開の改善を図りながら、有効性を高めていくことが必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	本市の貴重な文化資源である囲碁文化の普及、振興の観点から目的、対象、内容ともに妥当性は高い事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	事業経費は、更なるコスト削減に取り組む必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 囲碁人口の拡大を図るため、普及事業を推進するとともに、受益者負担の見直しを図り、併せて事務経費でのコスト削減に取り組んでいく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		各種イベント等の実施	各種イベント等の実施	各種イベント等の実施	各種イベント等の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	8,176	9,529	8,057	1,000
	一般財源	0	5	1,721	8,144
事業費 (A)		8,176	9,534	9,778	9,144
執行率 (%)		86.06	91.85	100.00	
内訳	職員 (人)	0.40	0.40	0.40	0.35
	再任用 (人)	0.15	0.20	0.20	0.10
人件費 (B)		3,815	3,914	3,887	3,122
フルコスト (A+B)		11,991	13,448	13,665	12,266

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針 今後も、効率的な事業実施の検討や事務経費の見直しを行い、事業効果を高めていきます。また、囲碁文化の裾野を拡大するため、イベント参加者増加を目指した積極的なPR活動を展開します。
課長コメント 囲碁文化の普及・振興を目的として、今後も継続するとともに各種イベントの数、参加者の拡大に努め、囲碁人口の裾野の拡大を図っていきたく考えています。